平成23年度遠野市下水道事業特別会計予算の要領

- 1 下水道事業における平成23年度予算は、八幡地区、遠野町地区、踊鹿地区の一部と総合食育センター地区の管路新設工事及び浄化センター設備更新の調査委託を予定しており、前年度当初予算比 0.8%増の 793,319千円を計上する。
- 2 歳入の主なものは、受益者分担金、負担金は、平成23年度に整備した区域を賦課対象区域に加え 10,159千円、下水道使用料は水洗化世帯の増加により前年度当初予算比 5.5%増の 124,198千円、管路整備延長等の増に伴い国庫支出金は前年度当初予算より 24,400千円増の 78,400千円、市債は3,200千円増の 93,700千円を見込んでいる。一般会計繰入金は、 486,856千円の見込みとなる。

下水道整備が全体計画の終盤に入っているため受益者負担金の賦課対象者も少なくなっており、分担金及び負担金の予算は減となっている。

3 歳出の主なものは、施設の維持管理等に係る下水道管理費として 129,899千円、 施設整備に係る下水道事業費は管路新設工事及び浄化センター設備更新調査業務 委託として 196,341千円を計上、市債の元利償還に係る公債費は、466,979千円を 計上している。

区 分		予 算 額 (千円)		構 成 比 (%)		前年度対比	
		平成 23 年 度	平成 22 年 度	平成 23 年 度	平成 22 年 度	伸び率(%)	
	1	分担金及び負担金	10, 161	13, 691	1.3	1.7	△ 25.8
	2	使用料及び手数料	124, 199	117, 743	15. 6	15. 0	5. 5
歳	3	国庫支出金	78, 400	54, 000	9. 9	6.8	45. 2
入	4	繰入金	486, 856	511, 404	61. 4	65. 0	△ 4.8
	5	繰越金	1	1	0.0	0.0	0.0
	6	諸収入	2	2	0.0	0.0	0.0
	7	市債	93, 700	90, 500	11.8	11. 5	3. 5
歳入合計		793, 319	787, 341	100.0	100.0	0.8	
歳	1	下水道管理費	129, 899	130, 609	16. 4	16. 6	△ 0.5
	2	下水道事業費	196, 341	189, 289	24. 7	24. 0	3. 7
出	2	公債費	466, 979	467, 343	58. 9	59. 4	△ 0.1
	4	予備費	100	100	0.0	0.0	0.0
歳出合計		793, 319	787, 341	100.0	100.0	0.8	

4 平成23年度下水道整備計画の概要

生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を目的に、下水道整備区域を拡大しながら普及率の向上を図るため、次の事業を計画している。

管路整備計画

区域	面 積 (ha)	延 長 (m)
遠野町地区の一部	0.50	891
八幡地区の一部	5.00	880
踊鹿地区の一部	4.00	165
総合食育センター地区	3.00	553
合 計	約12.50	2, 489

5 普及率·水洗化率

普及率は、遠野市全体の人口に対して下水道が供用開始された(使用可能になった)人口の割合であるが、平成23年4月1日の見込みは、前年と比較して概ね120世帯・約300人の増で、41.23%程度になるものと見込まれる。また、供用開始になった人のうち実際に使用している人の割合が水洗化率であるが、平成23年4月1日の見込みは、前年と比較して概ね70世帯・約180人の使用者増で、73.3%程度になるものと見込まれる。